

第37回スポーツリレートーク

「年に一度 サッカーを映画で楽しむ二日間 ～ センダイ・フットボール映画祭を語る」

講師 スタジアムDJ 映画祭代表 大坂 ともお 氏

2016年1月14日(木) 19時～20時半

仙台市青葉中央市民センター 第2会議室

参加者 22名 会員16名 一般6名



<あいさつとこれまでの経緯>

こんばんは、スタジアムDJの大坂ともおです。本日は今年で2回めの開催となる「センダイ・フットボール映画祭」についてお話しさせていただきます。

なぜ仙台でサッカーの映画祭かという、日本ではサッカーなどのスポーツ映画はヒットしないということで、いい映画があっても全国上映されないのです。それは文化の成熟度が低いといこともありますが、当然テレビでも放送されません。しかし、素晴らしい映画はたくさんあるのです。

そもそもの始まりは、横浜で2011年ごろサッカーが大好きでフットサルチームを作っていた映画関係者の人たちがいて、そんないい映画を観ようということで仲間うちで上映したのです。その関係者と出会い、横浜だけでなく仙台でもやりたいと話したところ、実行企画大坂ともおとなった企画書が送られてきました。(笑)

<映画祭の楽しさ>

映画祭の特色は、試合そのものの楽しさのほか、一人の選手の裏側を知った上でみることで、そのスポーツの盛り上がりもおおきくなることです。去年の今頃、ラグビーがこんなに盛り上がると誰が予測したでしょうか。ひとつのことを知るということでそのスポーツへの思い入れがずっと大きくなるのです。

仙台の人はベガルタ仙台や、楽天イーグルスのことをみなさん知っていますが、そのこと(1人の選手の半生など)を知って観戦すれば、試合が全然違ってくると思います。映

画で日本対北朝鮮のゲームを流せば中継になってしまいます。しかし、選手の誰かの半生で、サッカーへの思いや挫折などを知ってから映像をみれば、全く違ってくるのです。

昨年1月30日にほぼ満員で4作品を仙台で上映し約500人の方に観てもらうことができました。その中で特に盛り上がったのがメッシでした。

<今年の開催について>

今年は2日間に6作品を上映し、場所はクリスロードの桜井薬局セントラルホールです。映画祭ではPR大使として平瀬智之さんに登場してもらうほか、いろいろなゲストにでていただく予定で、ベガルタレディースの選手や、ベガルタ仙台OBの伊藤檀選手にもきていただきます。彼はベガルタを辞めてからいろんな国の選手として活躍、本人いわくアジアの渡り鳥だそうです。(18ヶ国で選手として活躍) インドのチームでは何かということカレーで、試合の前でもカレーを食べるのだそうです。ブルネイはお金持ちのチームに所属し、王子が入っているチームでは待遇が半端なく、1人の選手に何人もの召使がついたり、乗る車を何台もの中から自由に選べたりしたそうです。彼と一緒に登場するのは当時の監督の鈴木武一さんです。

<作品紹介>

(ここから作品紹介、作品紹介は公式ホームページより)

1月30日上映作品

1) ドイツ代表 ディー・マンシャフト/Die Mannschaft

2014年のワールドカップで4度目の世界制覇を成し遂げたサッカードイツ代表。試合から練習風景、さらに1回戦で波紋を呼んだあのFKの真相も明らかにされているとか……。あの感動をもう一度！大きなスクリーンで味わってみませんか！！

2) じゅういちぶんのいち

ジャンプスクエア連載、累計発行部数60万部を記録した人気コミックがついに映画化されました。様々な出来事を経てプロを目指す少年の物語。作品の中に女子日本代表が登場しますが、ベガルタ仙台レディースの地元としては見逃せない一本。

3) マラドーナ/Maradona by Kusturica

今回の映画祭の目玉中の目玉！マラドーナ好きの、マラドーナ好きによる、マラドーナ好きのためのドキュメンタリー！監督はカンヌ国際映画祭で最高賞を2度受賞、世界3大映画祭すべてで受賞歴のあるクストリツァ監督。これはもう間違いありません！

1月31日上映作品

1) ロナウド/Ronaldo

ポルトガルが生んだスーパースター！子どもから大人まで、世界が憧れるクリスティアーノ・ロナウドのドキュメンタリーです。若かりし頃や、息子さんと過ごす和やかな映像。

さらに世界が認める最大のライバル、メッシも登場する超豪華な作品に仕上がりました！

2) リトル・ライオン～明日へのゴール～／Comme un lion

少年の夢は世界に名をはせる一流のクラブチームでプレーすること。そんな彼がフランスの地を踏みしめたとき、そこに待っていたのは想像を超える苦悩とハプニングの連続。でも負けない！だって一流のサッカー選手になりたいんだ！一発逆転は起きるのか！？手に汗握って応援したくなる一本です。

3) ボカ・ジュニアーズ・ザ・ムービー／BOCA JUNIORS THE MOVIE

アルゼンチンで最も成功をおさめたクラブチーム「ボカ・ジュニアーズ」の歩んだ奇跡が映画館でよみがえる！巨大スタジアム「ラ・ボンボネーラ」の熱気が日本にいながら体感できる注目作品です。サポーターの熱狂的な応援でスタジアムが揺れる「ボケンセ」さえ感じられるかも！？

世界で一番競技人口が多いのはサッカーです。それを映画にしたいという監督もたくさんいて、サッカーが生活の一部となっている国では多くの映画が作られます。その地域にサッカーが根付くその手助けをしていきたい、それをもっと深めていきたいと思います。

<付帯イベント>

今回は他に付帯イベントも開催します。映画館ではゲストを招いて対談などを行い、クリスロードのアーケードではトークショーにベガルタレディースの選手が二日間とも登場します。アエルのアトリウムではフットボールパネル展として、地元にあるサッカーチームであるベガルタや、コバルトーレ女川、ソニー仙台、フットサルのヴォスクオーレ仙台などを紹介、合わせてキックターゲットなどのゲームも無料で開催します。また、今回は土・日に開催するので、土曜日の夜にハーフタイムパーティをやりませう。お互いに交流することで何かが生まれると期待しています。チケットは1,800円です。

<最後に>

これからの夢としては、いつか仙台スポーツ映画祭として一週間くらい市内の全ての映画館でさまざまなスポーツ映画を上映してみたいと思います。子供たちのためにはクリスロードにレッドカーペットを敷いて、映画に登場するさまざまな選手が登場するというのはいかがでしょうか。そんな妄想をしています。(笑)

今回もまだ二度目ということで不手際も多く、まだチケットも完売ではありませんので、ぜひ、宣伝にご協力ください。